

令和5年度事業報告書



第17回福祉ふれあいフェスティバル・屋外ステージ
みなかみ中学校吹奏楽部演奏
(令和5年10月22日 町保健福祉センター)

社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会

社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会 令和5年度事業報告

【令和5年度の重点項目の取り組み】

令和5年度、社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会は「地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことができる福祉の町づくりを推進すること」を使命として住民参加をいただき事業推進し、下記の3点を重点項目として取り組みました。

- ① 住民主体の参加によるまちづくり
- ② 住民が安心して暮らせるまちづくり
- ③ 新たな時代の地域福祉、福祉サービスの展開を図ります。

① については、

地域をともに創っていく社会「地域共生社会」の実現に向けて住民の皆さん、関係団体・機関や行政と協働して取り組みました。特に町からの受託事業である重層的支援体制整備事業により、新しい居場所づくりや、社会参加や生きがいがいづくりにつながるものとしてスマホ講習会や刈り払い講習会などを実施しました。また、地域の運営ボランティアによるサロン活動が再開、健康教室でも介護予防サポーターの協力をいただきながら開催できました。

② については、

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所などの介護保険事業のほか、生活困窮者相談支援事業や日常生活自立支援事業を実施し、介護、生活相談などに応じました。また、令和5年度は受任実績は無かったものの、成年後見制度による「法人後見事業」を開始し、権利擁護事業の充実も図りました。

生活支援では、「相乗りで買い物（かいタク）」を実施したほか、生活支援体制整備事業では、災害時の避難についても鹿野沢地区で整備を図りました。

4年ぶりにイベント開催を復活させた福祉ふれあいフェスティバルでは、キッチンカーや相談支援機関の協力もいただき、認知症カフェイベントと共催することができました。

③ については、

従来事業にとらわれない展開を目指し、社協の組織運営についても役職員で検討を継続しています。5年度は「こどもまんなか社会」にも着目し、講演会をきっかけとして「子育て世帯訪問介護事業」を6年度から実施し、孤立しがちな子育て世帯支援や、ヤングケアラー支援を充実をはかります。また、介護従事者の確保も課題として、町内の医療介護福祉事業者で組織する「社会福祉法人等連絡会」と企業説明会を共催しました。さらに従事者の確保を促進するため6年度に「生活援助従事者研修」の計画につながりました。



1. 法人運営

理事会、監査会、評議員会の開催の他、会務の運営、会費等の募集、事業継続計画の策定に取り組みました。

会議の開催内容は、下記のとおりです。

(1) 理事会

期 日	議 案 内 容 等
R5.6.6	(報告) 1. 会長の職務執行状況について (R5.3.1-R5.5.31) (議案) 1. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算並びに公益事業収支決算の認定について 【監査報告】 2. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第1次補正予算の議決について 3. 令和5年度役員等賠償責任保険契約締結について 4. 役員(理事・監事)候補者の選任について 5. 福祉サービス第三者委員の選任について 6. 評議員会の招集について
R5.6.9	(理事会の決議の省略による) 1. 評議員候補者の選定について
R5.6.22	1. 社会福祉法人みなかみ町社会福祉協議会会長・副会長の選任について 2. 評議員選任・解任委員の選任について
R5.9.19	(報告) 1. 会長の職務執行状況について (R5.6.1-R5.8.1) (議案) 1. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会会長表彰の選考について 2. 令和5年度福祉ボランティア顕彰受賞者の選考について 3. 令和5年度福祉ふれあい川柳入選者の選考について 4. 令和5年度小中高生福祉作文・ポスターコンクール入選者の選考について
R5.12.11	(報告) 1. 虐待防止のための基本指針の策定について 2. ハラスメント対策の基本方針の策定について 3. 会長の職務執行状況について (R5.9.1-R5.11.30) (議案) 1. 次年度の取り組みについて

R6. 3. 11	<p>(報告)</p> <p>1. 会長の職務執行状況について (R5. 12. 1-R6. 2. 29)</p> <p>(議案)</p> <p>1. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第2次補正予算の議決について</p> <p>2. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会事業計画案及び資金収支予算案の同意について</p> <p>3. 就業規則の改定の議決について</p> <p>4. 評議員会の招集について</p> <p>5. 介護予防支援事業の開始に伴う定款変更について</p>
-----------	--

(2) 評議員会

期 日	議 案 内 容 等
R5. 6. 21	<p>(報告)</p> <p>1. 会長の職務執行状況について (R5. 3. 1-R5. 5. 31)</p> <p>2. 令和5年度役員用賠償責任保険契約の締結について</p> <p>3. 福祉サービス第三者委員の選任について</p> <p>(議案)</p> <p>1. 令和4年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算並びに公益事業収支決算の承認について</p> <p style="text-align: center;">【監査報告】</p> <p>1. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第1次補正予算の承認について</p> <p>2. 役員候補者の選任について</p>
R6. 3. 28	<p>(報告)</p> <p>1. 会長の職務執行状況について (R5. 12. 1-R6. 2. 29)</p> <p>(議案)</p> <p>1. 令和5年度みなかみ町社会福祉協議会社会福祉事業第2次補正予算の承認について</p> <p>2. 令和6年度みなかみ町社会福祉協議会事業計画案及び資金収支予算案の議決について</p> <p>3. 介護予防支援事業の開始に伴う定款変更について</p>

(3) その他会議

期 日	議 案 内 容 等
監査会 R5. 5. 29	令和4年度みなかみ町社会福祉協議会事業報告及び社会福祉事業収支決算並びに公益事業収支決算監査

福祉サービス 第三者委員会 R5.7.6	1. 委員長・副委員長の互選 2. 事故報告、ヒヤリハット報告および苦情について 3. その他（みなかみ町社会福祉協議会が提供する福祉サービスの質の向上に関する事、苦情解決を通じた「苦情処理マニュアル」の改善に関する事）
役職員事業推 進会議 R5.9.19	当会の事業についての役職員の情報交換 1. 活動現況報告 2. 社会福祉協議会の事業について 3. 情報交換
管理職会議 (月1回)	法人の運営状況についての会議 4月3日、5月2日、6月2日、7月4日、8月3日、9月1日 10月3日、11月2日、12月8日、1月9日、2月2日、3月7日
係長管理者会 議	各事業所の運営状況、改善策の検討等 9月4日、10月11日、12月11日、1月23日、2月16日、3月14日
各種委員会	BCP策定、マニュアル策定のため、各部署の委員の参加による委員会 災害BCP委員会、感染症委員会、虐待防止委員会、ハラスメント防止委員会

2. 生活福祉資金および高額療養費つなぎ資金貸付

低所得者、障害者世帯、高齢者世帯に対する生活福祉資金の貸し付けの新規利用は4件だった。

国民健康保険加入者に対する高額療養費のつなぎ基金貸付の相談は無かった。

令和5年度の新規貸付件数（件）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通常	4	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0

(前年度通常貸付 0件)

3. 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害のある方で判断能力が不十分の方々の権利擁護に資することを目的に、専門員及び生活支援員による金銭管理等日常生活の援助を行った。

◆日常生活支援員 6人

◆利用者数

区分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	合計
5年度未利用者数	9人	6人	3人	18人
5年度新規契約者	0人	1人	0人	1人
5年度内終了者	0人	0人	2人	2人

◆月別援助時間一覧表(単位：時間)

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
時間	207	16	19	18	17	16	18	18	17	17	17	17	17

(前年度 165 時間)

4. 権利擁護事業

(1) 群馬県から「権利擁護人材育成事業」の補助を受けて法人後見事業を開始。

パンフレットを民生児童委員協議会等で関係機関に配布し事業周知をはかった。

(2) 「法人後見運営委員会」を弁護士、司法書士、社会福祉士等専門職に参画いただき設置。

第1回法人後見運営委員会 令和5年7月19日 保健福祉センター

第2回法人後見運営委員会 令和6年3月18日 保健福祉センター

(3) 成年後見制度利用促進事業における中核機関の設置について下記の会議に参画した。

- ・成年後見制度利用促進事業圏域別情報交換会（群馬県社会福祉協議会主催）

第1回 令和5年8月9日 沼田テラス

第2回 令和6年1月24日 沼田テラス

5. 高齢者福祉事業・児童福祉事業

(1) 自立支援型ホームヘルプサービス事業の実施

町介護保険のサービスの認定にはならないが、日常生活に支援が必要な高齢者へのホームヘルプサービスを実施した。

◆月別利用状況一覧表（生活援助）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	26	4	4	5	4	4	5	0	0	0	0	0	0
実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0

(前年度 52回 1人)

◆月別利用状況一覧表（通院介助）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	167	8	7	7	11	13	11	20	21	17	15	22	15
実利用者数	15	5	4	4	6	7	5	7	6	7	6	7	7

(前年度 87回 13人)

(2) 地域自立生活支援事業の実施

(ア) 健康教室

地域の公民館や会館を会場とし、健康体操を中心に認知症予防、ゲームなどを行い住民の健康の維持・改善を図ることを目的とし実施した。

開催か所	16か所（前年度同数）
延利用者数	927人（前年度867人）

(イ) 認知症カフェの運営

認知症予防のため、地域の集いの場を開催した。

ふれあい交流館会場（湯原） 47回 延参加者数232人

のぞみ館会場（新巻） 48回 延参加者数190人

「認知症カフェイベント Vol. 4」令和5年10月22日 参加者700人

※第17回福祉ふれあいフェスティバル共催

(ウ) おでかけ倶楽部（送迎付き健康教室）

介護予防が必要な高齢者の閉じこもり防止や体力の現状維持及び向上を図ることにより、介護予防への自主的な取組と自立した生活ができるよう実施する。

◆実施回数一覧表（単位：回）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水上	23	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2
新治	23	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2
合計	46	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4

（前年度 水上24回 新治24回 合計48回）

◆参加者数一覧表（単位：人）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水上	258	26	22	21	22	21	24	21	24	24	10	22	21
新治	280	28	22	22	26	25	24	25	26	22	24	13	23
合計	538	54	44	43	46	46	48	46	50	46	34	41	44

（前年度 水上221人 新治281人 合計502人）

(エ) 介護予防サポーター養成研修を行った。

① 「介護予防サポーター養成研修 初級編」

令和5年6月19日 13:00～16:50 保健福祉センター 2階会議室

参加者数 11名（申し込み13名、欠席2名）

講師 上牧温泉病院・理学療法士 今野敬貴 氏

群馬県歯科衛生士会・歯科衛生士 大久保恵子 氏

みなかみ町役場子育て健康課・栄養士 木村裕子 氏

西嶺の郷・認知症ケア上級専門士 石坂真由美 氏

② 「介護予防サポーター養成研修 中級編」

令和5年7月3日 9:25～16:30、令和5年7月10日 13:30～16:30

保健福祉センター 2階会議室

参加者数 7月3日 21名（申し込み23名、欠席2名）

7月10日 20名（申し込み22名、欠席2名）

講師 上牧温泉病院・理学療法士 今野敬貴 氏
 群馬県歯科衛生士会・歯科衛生士 大久保恵子 氏
 みなかみ町役場子育て健康課・管理栄養士 平形知子 氏

(3) 地域包括支援センターの受託運営

(ア) 総合相談支援事業

高齢者の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握するため相談窓口を設置し、適切な支援を迅速に行うための体制づくりを行う。

- ・相談件数 239件(前年度343件)

(イ) 介護予防サービス支援計画事業・介護予防支援事業

事業対象者や要支援者となった人の自立に向けたケアマネジメントを行うため、保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員等を配置し、必要に応じて指定居宅介護支援事業所に委託しケアプラン作成業務を行った。

- ・配置 6名(保健師等2、社会福祉士2、主任介護支援専門員2)

(ウ) 権利擁護事業(高齢者支援ネットワーク・成年後見制度利用支援事業)

認知症高齢者に対し成年後見制度に基づき手続きを行うほか、制度の周知を行った。また高齢者の消費者被害、虐待等に対応した。

- ・成年後見相談 20件(前年度20件)
- ・措置の支援 0件(前年度3件)
- ・権利擁護 3件(前年度2件)
- ・高齢者虐待 9件(前年度18件)
- ・消費者被害 0件(前年度1件)

(エ) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

個々の高齢者の状態や変化に応じた介護予防のケアマネジメントを行う必要から、地域のケアマネジャーの質の向上や抱える困難事例等に対し、必要な相談や助言、指導等の支援を行うとともに、町が抱える課題などの情報をグループワークなどにより共有し解決に向けた検討を行った。

- ・地域ケア推進会議 医療・介護・認知症部会 6回
- ・地域ケア個別会議 7回
- ・主任ケアマネ会議 6回
- ・ケアマネ連絡会議 8回

(4) みなかみ町立水上児童館の管理運営

令和2年度よりみなかみ町から指定管理者に指定され、利用児童個々のペースに応じ、心身の健康の増進、情操を豊かにできる育成活動を実施している。

運営状況一覧

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日	284	19	24	26	25	23	23	25	24	24	23	23	25
利用者	1992	98	169	179	177	138	140	169	215	180	175	171	181

(前年度 287日 1,067人)

(5) 在宅福祉サービス事業の実施

(ア) 給食サービス事業

ひとり暮らし高齢者の孤立感解消とバランスのとれた食生活を確保するため、希望者に週1回昼食時にお弁当の宅配を行った。また実施にあたっては、配達にボランティアの協力を得た。

◆月別実利用者数（単位：人）

実利用者	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	42	34	34	34	32	30	30	30	28	29	26	27	27
水上	33	22	23	22	23	23	25	24	24	25	22	23	24
新治	26	18	17	20	19	21	23	21	21	19	21	20	20
合計	101	74	74	76	74	74	78	75	73	73	69	70	71

◆月別延べ利用者数（単位：人）

配食数	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	1477	127	127	159	117	142	117	112	139	110	95	128	104
水上	1099	80	102	85	86	104	94	89	109	94	83	86	87
新治	876	64	71	66	69	85	76	74	86	66	74	71	74
合計	3452	271	300	310	272	331	287	275	334	270	252	285	265

（前年度 月夜野 1,557人 水上 1,158人 新治 959人 合計 3,644人

(イ) 高齢者等おむつ購入助成事業

在宅における高齢者の介護者負担の軽減と利便性向上のため、紙おむつの販売、購入助成を町の委託事業により実施した。

- ・延べ利用者数 2,989人（前年度3,097人）
- ・在宅要介護重度高齢者紙おむつ等支給者延べ人数 67人（前年度121人）

(6) 介護機器の貸し出し

在宅福祉の推進と介護者の負担軽減を図るため、介護機器の貸し出しを実施した。

◆介護機器の種類と貸出台数

種類	貸出台数（台）			
	月夜野地区	水上地区	新治地区	合計
介護用ベッド（手動式）	1	0	0	1（前年度1）
電動介護用ベッド	1	0	1	2（前年度6）
車いす	18	0	10	28（前年度16）
ポータブルトイレ	2	0	4	6（前年度7）
ピックアップ歩行器	0	0	1	1（前年度2）

(7) ふれあい・いきいきサロン設置推進

家に閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者等を対象に、交流や仲間づくりの場を「ふれあい・いきいきサロン」と総称し、各地域での自主的運営による、ふれあいサロン設置の支援と事業推進をはかった。

◆ふれあい・いきいきサロン一覧

サロ ン 名 称	実 施 場 所	参加者延数	実施数	活 動 内 容 等
1. こすもす会	後閑公民館	—	—	休会
2. 小和知地区ふれあいサロン	小和知公民館	—	—	休会
3. いきいきつきよのサロン	月夜野会館	1 5 4 人	6 回	軽体操・レクリエーション
4. 布施宿いきいきサロン	遊神館	4 3 3 人	1 4 回	軽体操・レクリエーション
5. ひばり会	後閑公民館	6 3 人	1 2 回	レクリエーション
6. にこにこサロン	下区集落センター	1 5 7 人	1 2 回	レクリエーション
7. あじさい会	真政公民館	1 4 0 人	1 2 回	軽体操・レクリエーション
8. サロンテラマ	寺間集会所	—	—	休会
9. 湯原歌う会	湯原会館	1 4 4 人	1 2 回	レクリエーション
10. サロン川上	南部生活改善センター	1 1 4 人	8 回	レクリエーション
11. 高日向サロン	高日向会館	9 9 人	8 回	軽体操・レクリエーション
12. サロン鹿野沢	鹿野沢会館	1 0 6 人	8 回	レクリエーション
13. 赤谷サロン	赤谷公民館	1 3 6 人	1 0 回	軽体操・レクリエーション
14. 猿ヶ京ふれあいサロン	猿ヶ京多目的集会場	1 6 1 人	9 回	軽体操・レクリエーション
15. 阿能川サロン	阿能川会館	7 7 人	9 回	軽体操・レクリエーション
16. 谷川あじさい会	谷川会館	1 0 0 人	1 2 回	軽体操・レクリエーション
17. OKB&昔	小日向会館	1 0 0 人	1 0 回	レクリエーション・軽食
18. 入恋サロン	遊神館	1 5 8 人	1 8 回	レクリエーション・食事 温泉保養
19. さろん川角	常生館	—	—	休会
20. 布施いきいきサロ すみれ会	遊神館	1 8 4 人	1 1 回	元気体操・お喋り
21. 谷地いきいきサロ	谷地公民館	—	—	休会
22. 今宿ふれあいいき いきサロ	今宿会館	3 3 9 人	1 2 回	軽運動・お喋り

23. 須川ゆうゆうサロン	須川公民館	139人	14回	吹き矢・ゲーム
24. 新生ふれあいいきいきサロン	上羽場集会所	140人	12回	軽体操・レクリエーション
25. 柳沼サロン	柳沼集会所	160人	11回	レクリエーション
26. 上牧サロン	上牧公民館	245人	12回	手芸・おしゃべり
27. よってこ	保健福祉センター	261人	21回	障害者家族支援

6. 障害児者福祉

障害福祉サービスを中心に障害者福祉の推進をはかった。

(1) 障害者ホームヘルプサービス事業

障害者総合支援法の障害サービス事業所として、居宅介護事業、同行援護、移動支援事業を実施した。

居宅介護

(単位：人)

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用	1422	119	131	120	123	131	123	103	109	112	111	115	125
実利用	23	21	19	20	20	19	20	20	19	15	20	16	20

同行援護

(単位：人)

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用	335	36	32	37	32	24	33	26	27	20	18	25	25
実利用	11	8	7	7	8	5	7	8	10	8	10	8	8

(前年度 居宅介護＋同行援護＝1,779人、24人)

移動支援（町からの委託事業）

(単位：人)

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用	62	5	6	5	6	5	5	6	5	5	4	5	5
実利用	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

(前年度 60人、2人)

(2) 障害者デイサービス事業（基準該当生活介護・自立訓練事業）

障害者総合支援法による基準該当生活介護・自立訓練事業としてデイサービス事業を実施した。

◆月別実利用者（単位：人）

実利用者	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	3	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2
水上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
新治	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	4	4	4	4	4	4	4	3	2	2	2	2

（前年度 月夜野 2人 水上 2人 新治 1人 合計 5人）

◆月別延べ利用者（単位：人）

延べ利用者	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月夜野	278	16	18	35	32	31	34	32	16	17	16	16	15
水上	115	20	19	9	16	8	13	15	15	0	0	0	0
新治	22	10	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	415	46	49	44	48	39	47	47	31	17	16	16	15

（前年度 月夜野 188人 水上 238人 新治 158人）

7. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンター設置運営

□開館相談日： 毎週 月曜～金曜日（祝祭日・年末年始を除く）

□時間帯： 午前8：30～午後5：30

○ボランティア登録・斡旋・相談・保険加入事務

ボランティア保険加入者 1,093人（前年度902人）

ボランティア行事保険加入 23件／814人（前年度5件／190人）

ふれあいサロン傷害補償 20件／300人（前年度18件352人）

(2) 介護支援ボランティアの推進

介護施設へのボランティア活動を通じて、高齢者や住民の地域貢献や社会活動奨励するとともに自らの介護予防や健康増進を推進し、より健康で生きがいのある生活を目指し平成29年7月よりボランティアポイントを付与して推進している。

・登録ボランティア 143人（前年度116人）

・実活動人数 62人（前年度65人）

・延べポイント数（100ポイント＝1時間）

304,890ポイント（前年度148,500円）

・登録施設数 11施設（前年度同数）

・ボランティア活動実績のあった施設 3施設（前年度2施設）

(3) 除雪ボランティア活動（水上）の推進

- ・建設業者による除雪ボランティア活動 0件（雪が少なかったため）
- ・除雪ボランティア等による除雪支援 5件（ボランティア4人）
- ・登録ボランティア 19人

(4) 収集ボランティア活動の支援

ペットボトルキャップ収集

令和5年度	2,232 kg	959,842 個
令和5年度までの累計	72972.5 kg	13,841300 個
ポリオワクチン数（累計）	12,422 人	

(5) 地域防災への取組

みなかみ町が主催する研修会に協力した。

- 「令和5年度 B&G 財団防災拠点整備事業 水害・土砂災害に備える 地域防災・避難所開設研修」

令和6年3月2日、3日 月夜野農村環境改善センター

8. 福祉教育の推進

町内小学校、中学校、高校の全校を福祉教育推進校（福祉協力校）として継続指定し、活動資金の助成と福祉教育の推進をはかった。

- (1) 連絡会議の開催 令和5年6月15日 保健福祉センター
令和6年3月8日 保健福祉センター

(2) 体験学習への職員の派遣

- ・令和5年12月13日 桃野小学校4年生 福祉体験（高齢者疑似体験）
- ・令和6年1月24日 桃野小学校4年生 点字体験
- ・令和6年1月29日 月夜野北小学校5年生 福祉講話・福祉体験（高齢者疑似体験）
- ・令和6年2月13日 みなかみ町中学校1年生 福祉体験（車椅子、風船バレー・衣服着脱体験、点字体験）
- ・令和6年2月28日 月夜野北小学校3・4年生 手話教室

9. 寄付金品の受入

社会福祉の推進及び福祉基金の積立を目的に寄付金品の受入を行った。

○寄付（金銭） 6件 1,253,765円

その他、物品寄付等を多数いただいた。

10. 共同募金・歳末たすけあい運動の推進協力

赤い羽根共同募金事業、歳末たすけあい運動に協力し配分金を受け以下の事業を実施した。

(1) 一般募金配分事業

(ア) 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅介護者へのマッサージと介護相談を実施（全12回、41人参加）

(イ) 福祉作文・ポスターコンクール（小中学校児童・生徒）

応募者数 作文の部 40点 ポスターの部 18点

(2) 歳末たすけあい募金配分事業

(ア) 歳末まごころ便宅配事業（令和5年12月・75歳以上のひとり暮らし世帯）*対象年齢を5歳引き上げました。

・配食数680食（月夜野268食・水上地区203食・新治地区209食）

（前年度 855食 月夜野345 水上244 新治266）

(イ) 福祉教育推進校事業（全小中高校8校）に活動費助成

(ウ) ひとり暮らし高齢者昼食会

月夜野地区 令和6年3月6日（水） 遊神館 参加者8名

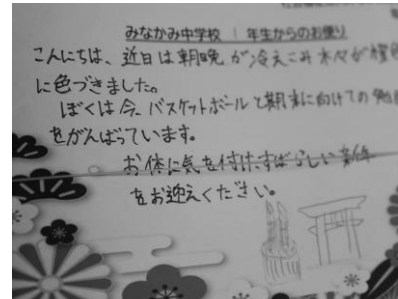
水上地区 令和6年3月4日（月） 遊神館 参加者10名

新治地区 令和6年3月8日（金） 遊神館 参加者13名

(エ) たかさご弁当（令和5年11月6日・85歳以上のみの2人暮らし世帯）

・配食数 36組（月夜野17組・水上10組・新治9組）

（前年度 28組 月夜野16 水上6 新治6）



中高生のメッセージを添えた歳末まごころ便

(3) 福祉車両貸出事業

外出支援に車いすごと同乗できる福祉車両をレンタカー業者との提携で貸出補助を実施した。

◆月別利用状況一覧表（福祉車両貸出事業）（単位：件）

内容	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貸出	15	0	1	2	1	1	0	2	4	1	1	0	2

（前年度 19件）

11 福祉有償運送事業

要介護状態や身体の障害等により日常生活において、ひとりでの外出が困難な方を対象に実施した。

◆月別実利用者、延べ利用者(単位：人)

項目	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用	82	30	32	35	32	32	32	35	34	37	33	33	37
延利用	908	67	70	64	75	65	71	85	101	81	72	79	78

（前年度 134人 674回）

12. 生活困窮者自立相談支援事業

群馬県社会福祉協議会より委託事業として、生活上の困難を抱えた方の支援を行う相談窓口を設置した。

相談支援活動集計表（延べ件数）

項目	年間	前年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電話相談	95	138	7	3	11	13	10	15	14	9	4	3	2	4
訪問	30	22	2	2	1	3	1	3	2	5	6	2	1	2
同行支援	24	17	3	1	1	2	2	1	1	3	4	2	1	3
面談	25	29	2	1	1	2	2	1	2	4	2	1	3	4
所内会議	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
支援会議	1	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0		0	1
支援調整会議（プラン策定）	7	2	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	1	1
支援調整会議（評価実施）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他会議	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
他機関との電話照会等	101	22	4	11	7	10	6	4	11	6	8	9	13	12
その他	36	46	1	1	1	1	1	2	4	4	5	6	8	2

13. 地域福祉事業

（１） 買い物支援事業

買い物タクシー（かいタク）の実施

買い物が困難な方を対象に、町内のスーパーまで相乗りタクシーを実施し、運賃の補助を行った。

実利用者 7人（前年度10人）

延利用者 157人（前年度138人）

実施回数 72回（前年度69回）

（２） 生活支援体制整備事業（みなかみ町委託事業）

（ア） 生活支援コーディネーターを月夜野地区・水上地区・新治地区に1名ずつ配置した。

（イ） 生活支援コーディネーターは、「みなかみ町生活支援体制整備事業実施要綱」第2条に掲げる事業を行うため、地区住民の代表、介護予防事業者、保健福祉の有識者等からなる第2層協議体を立ち上げ、各地区で定期的な会議をもった。

(ウ) 支え合い活動等の実施

生活支援コーディネーターが地域の生活課題解決のためにゴミ出しや移動支援の実施について高齢者と地域の協力者をコーディネートした。

① ゴミ出し支援の実績

令和5年度 実利用者 6人 延べ利用回数 271回
参考 令和4年度 実利用者 4人 延べ利用回数 203回
令和3年度 実利用者 6人 延べ利用回数 141回

令和5年度月別利用実績(回)

地区/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
後閑	4	3	4										11
後閑	4	4	5	5	5	4	4	5	4	4	5	4	53
湯原	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	51
小日向	3	5		5	4	4	5	4	4	4	4	4	46
湯原		4	9	9	9	8	9	9	8	9	9	8	91
後閑								5	4	4	5	1	19
計	15	21	22	23	23	20	22	28	24	25	27	21	271

② 住民ドライバーの福祉有償運送の実績(社協職員の実施を除く)

令和5年度 運行実績 4回
参考 令和4年度 運行実績 3回
令和3年度 運行実績 7回

令和5年度月別利用実績(回)

運転手	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
A										1			1
B		1		1									2
C										1			1
計		1		1						2			4

(エ) 1層協議体及び地域包括支援センターとの連携

① 1層協議体との連携

令和5年11月20日

各地区の報告を行った

② 地域包括支援センターとの連携

地域包括支援センターが開催する会議へ生活支援コーディネーターが出席し、地域課題の共有をはかった。

・地域ケア推進会議医療・介護・認知症部会

令和5年10月13日 困難事例検討会(複合家族)

令和5年12月11日 あったらしいな～災害編～ グループワーク

令和6年 2月15日 困難事例検討会(地域見守り編)

・地域ケア個別会議

令和5年11月1日 事例検討(水上居宅介護支援事業所、みなかみ社協ケアプランセンター)

令和6年1月10日 事例検討(西嶺の郷居宅介護支援事業所、みなかみ社協ケアプランセンター)

令和6年3月1日 事例検討(月夜野病院総合介護センター、みなかみ社協ケアプランセンター)

(オ) 町のおこなう「地域づくり加速化事業」に参画

介護予防事業の活性化をはかるため、町が厚労省事業である「地域づくり加速化事業」を実施し、検討メンバーとして参画し目指すべき姿、必要なサービス等を考案した。

令和5年10月30日 1. 5 ミーティング

令和5年11月13日 町担当者と打合せ

令和5年12月5日 第2回地域づくり加速化事業支援

令和6年2月6日 第3回地域作り加速化事業支援

令和6年3月25日 「介護予防サポーターとの学習会」

(カ) 担い手の育成

- ・「雪かき初心者講習会」 令和6年1月21日 社協水上支所
講師 阿部清・中島修一 氏 (地元有志)

雪不足のため中止

- ・共愛学園前橋国際大学「共愛COCO」への雪かき講習

令和6年2月4日 みなかみ町藤原(平出)

講師 中島修一 氏 (地元有志)

- ・「障子張り講習会」 令和6年3月27日 社協水上支所
講師 鈴木保雄 氏 (地元有志)

(3) 重層的支援体制整備事業(みなかみ町委託事業)

(ア) 多機関協働事業

① 社会福祉協議会における福祉関係事業調査表の更新

新規事業、廃止事業の加除を行い、福祉関係事業の目的・対象・今後の課題を整理し、本事業の体制整備やホームページの刷新時に活用した(資料1ページ)。

② 心配ごと相談、法律相談、なんでも相談等相談体制の充実

- ・心配ごと相談

民生委員・人権擁護委員・行政相談員の3名が心配事や困りごとの相談を受けた。
開催回数 12回 相談数 3件(前年度2件)

- ・法律相談

法律に関係する地域住民の相談事に対して、群馬弁護士会から派遣された弁護士が相談を受けた。

開催回数 12回 相談数 41件(前年度39件)

- ・相談員研修会

内容 「近所で起こりうる法律問題」 令和5年10月25日

講師 弁護士 小林有斗 氏

・県社協が実施している「なんでも福祉相談事業」に参加し、地域住民の困りごとについて対象を限定せずに行った受け止め、必要に応じて適切な支援先に繋いだり、県内の社会福祉法人のネットワークを活用したりして困りごとに対応した。

- ③ ワンストップ相談窓口「福祉まるごとサポートセンター」に相談員として職員1名を派遣した。
- ④ 重層的支援会議・支援会議について
多機関協働事業として介入しているケース1件について、支援会議にかけ、支援経過の共有および支援プランについての検討を行った。

(イ) アウトリーチ

- ① 地域福祉推進協力店の拡充及び緩やかな見守り体制の強化

登録事業者数 …… 42事業所

地域住民や顧客とのコミュニケーションのなかで心配な人や気になること等があった場合、本会まで連絡をして欲しいと依頼した。ワクチンの予約代行を手伝ったり、近隣で心配な人がいると報告してくれたりする協力店があった。登録店舗には「ひとりじゃないよ」ウッドパネルを配布し、掲示してもらうよう依頼した。

- ② 見守り安心サポーターによる地域づくりと見守り体制づくり

登録者数 …… 83名

社協広報紙「ひだまり」で活動の周知および新規登録の募集をおこなった。

- ③ 「公的サービスを利用していない方への調査」の実施

昨年度実施した「公的サービスを利用していない方への調査」について今年度は精神保健福祉手帳2級所持者（15人）を新たに対象として追加

対象：町内在住の64歳以下で、障害手帳（身体障害1・2級（上肢、下肢、体幹機能障害）、知的障害A・B、精神障害1・2級）を所持しているが公的サービスを利用していない人（入院・入所を除く）

アンケート発送人数：73人

聞き取り方法内訳：面談16人（うち訪問9人）、電話23人、
手紙による回答のみ11人、回答なし23人

- ④ ニーズを抱える住民へのつながりの形成に向けた継続的な訪問支援

来庁による面談だけでなく、本人の生活実態や精神状態に合わせた支援方法を選択し柔軟かつ個別性ある支援を心がけた。すぺーすちっと等の利用を促し集団の中での支援につなげた。

- ⑤ 相談機会の拡充やひきこもりや孤立の予防を目的として、障害者サロン「よってこ」の立ち上げを支援した。まるごととして携わるケースや調査から分かる個別ニーズや見聞きしている地域のニーズをよってこへ共有し、サロンやイベントに活かしてもらっている。

(ウ) 参加支援

- ① 利用者のニーズを踏まえたマッチングやメニューの作成

アウトリーチによる事業と連携して「わら細工の家」の活用について検討した。また、適した就労等を見つけるきっかけづくりとして社会参加の機会を提供した。

・令和5年10月1日 花植ボランティア（参加予定者1名だったが実際は0名）

- ・令和6年3月27日 障子張り講習会をすぺーすちつと参加者2名と相談員が受講。講師や職員と協力して高齢者婦人センター大広間の障子張り替えをおこなった。

② 友愛訪問の実施

民生委員児童委員、地区の協力員により1人暮らし高齢者等の見守りを実施した(5人)。

事業の周知を図るため、民生委員児童委員協議会に参加して説明をした。

③ 就労支援としての雇用受け入れ先の開拓

人材確保に課題をもつ福祉事業所や農家から受け入れについて提案があり、今年度は具体的な就労体験や就労へは結びつけられなかった。生活困窮者自立相談支援事業等多機関との連携も強化して具体的な就労支援につなげていきたい。

既存資源の活用としては、シルバー人材センターの協力で単発ではあるが就業につながった。

④ 地域ボランティアの増員及び地域の担い手の育成

こどもまんなか社会における「こどもの居場所」とはどのようなものが求められているのか、そこに高齢者等との関わり、地域の人とのつながりはどうあるべきかを考える機会として講演会を開催した。

令和5年11月2日(木) みなかみ町保健福祉センター 参加39人

こどもまんなか社会「こどもの居場所」

講師 大竹 智氏(立正大学社会福祉学部教授 こども家庭庁こども家庭審議会委員)

⑤ 学びの教室の実施

イ) LINE 教室(初心者向け)

高齢者向けライン初心者教室(スマートフォン・タブレット端末利用者)を開催し、講師に移住者、社会参加機会が乏しくなった子育て中の母親、障害者等を依頼して、就労の機会と地域の高齢者との交流をはかるとともに情報弱者になりがちな高齢者への支援を行った。

第1回 6月26日・7月3日・10日 会場:遊神館

参加実人数9人 延人数25人

第2回 10月16日・23月・30日 会場:社協新治支所

参加実人数16人 延人数47人

第3回 1月22日・29日・2月5日 会場:社協新治支所

参加者実人数11人 延人数32人

ロ) e-スポーツ講習会の開催と世代間交流の実施

群馬県長寿者社会づくり財団との共催で「e-スポーツ講習会」を開催し、e-スポーツ(テレビゲーム)を活用した健康づくりと社会参加機会の創出を図った。また、後日ボランティアに協力いただき、e-スポーツを通じた学童と高齢者の交流事業を実施した。

・講習会 12月1日 会場:町保健福祉センター

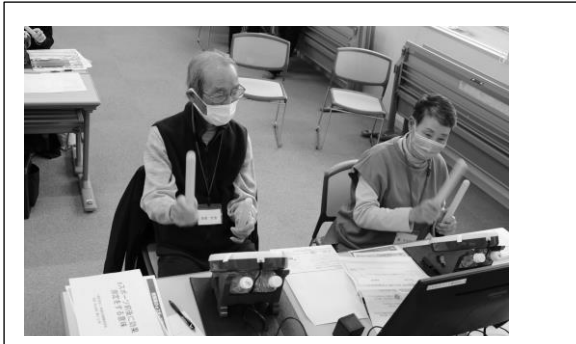
内容:ニンテンドースイッチ「太鼓の達人」を利用したスポーツ競技

参加者:高齢者 10名

・交流会 12月2日 会場:社協新治支所

内容：ニンテンドースイッチ「太鼓の達人」を使用した多世代
交流会

参加者：高齢者 26名、子ども 9名、ボランティア 5名



- ⑥ 地域住民の福祉ボランティア活動の普及を目的に下記の事業を行った。
- ・ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア派遣の活性化
 - ・ボランティアコーディネーターの配置及び相談事業
 - ・ボランティアの啓発・普及・登録・紹介事業の充実
 - ・視覚障害者用町報朗読テープの配布
 - ・収集・回収事業の実施（エコキャップ等） 累計 13,841,300 個
- ⑦ 各団体等の運営事務
- 老人クラブ（町・支部）、母子会、身体障害者福祉協会、更生保護女性会、遺族会、共同募金委員会等の団体の運営事務を行い、地域福祉の向上を図った。
- ⑧ ふれあいいきいきサロン等の居場所の提供
- イ) ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会の開催
- ・第1回 6月 5日 町保健福祉センター 33名
 - ・第2回 3月 2日 町保健福祉センター 35名
- ロ) ふれあい・いきいきサロン研修会の開催
- ・ゲームで学ぶ『あなたが最期にのぞむこと』
ぬまたとね医療・介護連携相談室 岡島真実 氏
8月 28日 町保健福祉センター 32名
- ハ) 月夜野・水上・新治各地区で全体会を行い、交流を図る。
- ・月夜野地区
10月 30日 町保健福祉センター 25名
内容：紙芝居 『天下の義人茂左衛門』 原澤栄二氏・椅子ヨガ :
平井百合子氏
 - ・水上地区
11月 8日 高齢者婦人センター(水上支所) 20名
内容：絵手紙を書こう 第2回
 - ・新治地区
10月 26日 遊神館 99名
内容：音楽療法 講師：高橋由貴子氏 サポート 1名
- ニ) 県社協主催 ふれあい・いきいきサロン推進連絡会等
- ・第1回群馬県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会
6月 7日 群馬県社会福祉総合（Zoom 併用） 担当出席

- ・第2回群馬県ふれあい・いきいきサロン推進連絡会

3月11日 Zoom開催 会長・担当出席

- ・利根沼田ブロックサロン研修会

12月21日 利根沼田文化会館 25名参加

内容：レクリエーション研修 『サロンで実践できる楽しい身体の動かし方』

講師：群馬レクリエーション協会 田中智恵子氏

ホ) ふれあいいきいきサロン未設置地区の民生委員・ボランティアにサロンにおいて、令和5年度は立ち上げ支援を支援するための説明会を1ヵ所実施、令和6年4月より新規立ち上げ予定（新巻平いきいきサロン）。

へ) ひきこもりや障害等で自宅以外の日中の居場所がない方のために「みんなの居場所すぺーす ちっと」を月2回開催した（令和5年6月開始）。相談支援機関からの紹介のほか、「公的サービスを利用していない方への調査」やひきこもりの相談からつながった方などが参加している。また毎回ボランティアの協力のもと様々なプログラムを実施している。

・実施回数 17回

・延べ参加者数（ボランティア含む） 122名

⑨ 社会福祉法人等連絡会と連携し、社会資源の発掘や受け入れ先の開拓

具体的な制度要綱の整備には至っていないが、介護事業所等14事業所から協力の内諾をいただいている（就労に至る前の社会体験（ボランティア体験）や各法人の既存資源の活用など）。

また、社会参加のきっかけづくりとして社会福祉法人等連絡協議会と共催で「企業説明会」を開催した。

- ・令和5年8月7日(月)高校生向け企業説明会

みなかみ町保健福祉センター2階会議室 参加法人 8社 参加者 1人

- ・令和6年2月20日(火)高校生向け企業説明会

みなかみ町保健福祉センター2階会議室 参加法人 9社 参加者14人

- ・令和6年2月27日(火)合同企業説明会

みなかみ町中央公民館3階会議室 参加法人 9社 参加者2人

⑩ その他、関連項目

イ) 広報・啓発

・ふれあいいきいきサロン地区別交流会にてまるごとサポートセンターの活動紹介やひきこもりについての啓発活動を実施した（10/30 月夜野地区、11/8 水上地区、10/26 新治地区）。

・福祉ふれあいフェスティバルにおいてまるごとサポートセンターとして相談ブースを出展した。

ロ) ひきこもり支援に関する情報共有、自己研鑽のため、群馬県心の健康センター主催のひきこもりサポーターズミーティングへ参加した（10/19、12/7）。

ハ) 重層的支援体制整備事業勉強会への参加

利根沼田障害者相談支援センターがみなかみ町より受託し開催した勉強会に参加し、関係機関と顔の見える関係づくりや相談援助技術の向上を図った。

・第1回 社会資源マップづくり、多機関交流会

令和5年7月26日（水） 町保健福祉センター 職員11名参加

・第2回 勉強会・グループワーク

令和5年9月11日（月） 町中央公民館 職員14名参加

「複雑・複合化した課題を抱えた家族の支援～アセスメントから介入の入口まで～」

講師 山本由紀 氏（国際医療福祉大学 准教授）

・第3回 社会資源マップづくり、多機関交流会

令和6年2月14日（水） 町保健福祉センター 職員 8名参加

・第4回 勉強会・グループワーク

令和6年3月6日（水） 町保健福祉センター 職員 5名参加

「複雑・複合化した課題を抱えた家族の支援～ナラティブ・アプローチの活用～」

講師 荒井浩道 氏（駒澤大学 教授）

(4) 生活困窮者相談事業（みなかみ町委託事業）

① 相談窓口の設置 相談窓口を設置した。相談件数 23件

② 研修会の開催 権利擁護研修会 令和5年12月6日 保健福祉センター

講師 清水合同事務所 司法書士 清水俊作氏

演題 「権利擁護のそもそもばなし」

参加者 20人

③ オンライン相談の構築 見やすいホームページによるオンライン相談の構築をした。オンライン相談 2件

④ フードバンク事業 町民、企業から寄付をいただき、生活困窮者等に適時配布した（利用者 41人）。

またひとり親家庭対象のフードバンクイベント（食料品配布）を3回おこなった。

(5) 生活困窮者支援等のための地域づくり事業

① 福祉アンケートの実施 町民1,000人対象に実施

② 居場所づくり わら細工の家を居場所としての活用を検討した。

③ 福祉ふれあいフェスティバルの開催

・第17回福祉ふれあいフェスティバル（通常開催）

令和5年10月22日（日） みなかみ町保健福祉センター

○会長表彰 雲越利雄（藤原） 鈴木文子（湯原） 関章二（下新田）
小野ミエ子（下牧）

○感謝 月夜野ライオンズクラブ（後閑） ミツバ労働組合（桐生）

○福祉ボランティア顕彰 大川美知子（上津） 栗原愛子（上津）

杉山久美子（下牧） 持木進（布施）

○福祉ふれあい川柳入選

- 最優秀 杉木輝夫（下 津）「デイサービス 待ち遠しいのよ 火・木・土」
優秀 石坂作次（鹿野沢）「血の通う 介護にA I 出番なし」
優秀 大川美知子（上津）「運動で 老々介護 先送り」
優良 渋谷典子（後 閑）「サロンはね 脳トレ貯筋 ポケ予防」
優良 藤田俊彦（石 倉）「呆けさらば 積極参加 コミュニティー」
優良 原澤廣子（布 施）「婆が言う 「ありがとうネ」は エネルギー」

○小中学生福祉作文ポスターコンクール入選者表彰

- 作文 小学生低学年の部 応募無し ポスター 小学生低学年の部 5人
小学生高学年の部 3人 小学生高学年の部 5人
中学生の部 8人 中学生の部 6人

- ・認知症カフェイベントVOL.4を第17回福祉ふれあいフェスティバルと共催
ワークショップ『認知症世界の歩き方』の実施や相談ブースの開設等、地域
住民への認知症に対する理解を深める機会を設けた他、ヨガやマッサージ、
地域のキッチンカーの出店などで交流を図った。

④ 地域の担い手研修会や地域の課題に応じた地域活動に向けた検討会の実施

イ) 「刈払機取扱作業安全衛生講習会」の開催

地域の不耕作地や高齢者のみ世帯等への支援者を養成することを目的
として標記講習会を開催した。

令和5年10月2日 保健福祉センター 参加者 20名

ロ) 「はじめてのドローン体験教室」の開催

小中学生向けとして地域福祉課題解決への関心を高めることを目的と
して開催した。

令和5年11月19日 楽天ドローンアカデミーみなかみ校
参加者 14人

ハ) 「地域の普請事業（清掃奉仕作業）」

身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進
を図ることを目的として、「みなかみを綺麗にし隊M. Y' us」の
活動と協働し、セブンイレブン上津店～月夜野大橋の歩道区間の
清掃奉仕を行った。また、企業の協力や、高校生との活動にも支
援した。

令和5年7月8日 アイチコーポレーション新治工場のボラン
ティア活動（草刈り）（のぞみ館）

令和5年7月21日 高校生とボランティア団体の清掃活動
（月夜野地区内）

令和5年12月10日 M. Y' us（ミュージズ）との清掃作業

14. 啓発・その他

(1) 広報紙の発行

社協広報紙「ひだまり」の全戸配布 年4回（5月・8月・11月・2月）

(2) ホームページの活用による啓発

15. 介護保険事業関係

介護保険法指定事業者として【居宅介護支援事業】・【訪問介護事業】・【通所介護事業】を実施した。

【居宅介護支援事業】

介護保険法指定事業者として、在宅の要介護者が介護保険から給付される居宅サービス等を適切に利用できるよう、要介護者の依頼を受けて利用する介護サービスの種類・内容を定めた居宅サービス計画の作成、居宅サービス事業者等との連絡調整などを実施したほか、介護保険認定に係る調査を受託実施した。

- 介護認定者延べ利用者数 3,852人 (前年比 102%)
- 予防支援等延べ利用者数 585人 (前年比 102%)
- 認定調査件数 4件 (前年比 3件増)

*別紙1

【訪問介護事業】 (ホームヘルパー派遣)

介護保険指定事業者として、訪問介護員 (ホームヘルパー) により、要支援者・要介護者等の心身の特性を踏まえて、要支援者、要介護者が可能な限りその居宅において、安心して自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介助・通院介助等その他の生活全般にわたる必要な支援を行った。

- 利用者数 (累計) 1,602人 (前年比 101.8%)
- 延べ利用日数 (累計) 11,668日 (前年比 95.6%)

*別紙2参照

【通所介護事業】 (デイサービス)

介護保険事業者として、要支援者、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、デイサービスセンターにおいて必要な日常生活の世話及び入浴・食事の提供等介護サービスを提供した。

- 延べ利用者数 21,353人 (前年比 103%)
- 定員に対する年間利用稼働率

名 称	稼働率 (前年)
デイサービスセンターほたるの苑	61.1% (57.5%)
水上デイサービスセンター	65.7% (66.3%)
新治ふれあいセンター	77.7% (76.6%)
全 体	68.5% (66.8%)

*別紙3参照

16. 障害福祉サービス事業所ぴっころ就労継続B型事業所の運営

所在地	みなかみ町月夜野 644-2
事業開始日	平成29年10月1日
入所定員	20人
専任指導員	5人（常勤換算）
敷地面積	2,562.83㎡
建物面積	352.99㎡
通所者の現況	18人（令和6年3月31日現在）

通所者の現況内訳						
男女別	男10人	女9人				
地区別	月夜野 10人	水上1人	新治6人	沼田1人		
年代別	10代0人	20代8人	30代5人	40代4人	50代2人	60代0人
障害種別	知的17人	身体1人				

通所手段	自主通所（徒歩・自転車・バス・家族送迎）又は施設送迎
開所日・時間	月曜日～金曜日午前9時～午後4時（但し：12月～3月午後3時）
休所日	土曜日・日曜日・国民の祝日 夏季休暇 8月13～16日 年末年始12月29日～1月3日 他、休日販売等行った場合には月曜日等を振替休所とした。
作業内容	受託作業…NTT公衆電話室清掃・町有墓地及びトイレ清掃 月夜野きのこ園・丸久物産・他、内職・作業請負 自主商品製作・販売…パン・木工品・和紙工芸品・縫製品・菓子等
年間行事	新型コロナウイルス感染防止のため中止
（開所日数）	240日
（延べ通所人数）	4,251人
（年間総売上）	11,934,177円
（配分金支払い）	5,367,557円（1人月平均25,253円）

17. 子どもの生活・学習支援事業

- ・開催日数 48日（原則毎週土曜日）
- ・登録人数 15人（中学1年2人、中学2年7人、中学3年6人）
- ・延べ参加生徒数 94人
- ・支援体制（1回あたり） 支援員1名、大学生2～3人
- ・支援対象者 町内居住、生活保護受給世帯、就学援助制度の準要保護世帯、児童扶養手当受給世帯、県が必要と認める世帯の小学生及び中学生。受入体制等に応じて高校生も対象とする。
- ・支援内容
 - 1) 生徒に対する居場所の提供
日常生活習慣の形成、社会性の育成、子どもが安心して通える場所の提供
 - 2) 生徒に対する学習支援
高校受験のための進学支援や、学校の勉強の補習、宿題の習慣づけ
 - 3) ICTを操作・活用するための能力の向上を図るため、年4回以上ICTスキルの向上に資する学習機会を提供
高校受験のための進学支援や、学校の勉強の補習、宿題の習慣づけ
 - 4) その他、群馬県が認める生徒等の生活習慣・学習習慣の確立や学習意欲の向上に資する支援